



前田彩名
MAEDA AYANA

遂に「絶対働きたい！」
と思った場所に
いまはとにかく前進あるのみ

こうしてDJが将来の夢に

幼いころは、看護師になりたかったんです。ナースが主人公の小説に感動したのがきっかけで、母がホームヘルパーの仕事に携わっているのもあって、「やっぱり手に職だ！」と(笑)。でも、高校に入って進路を真剣に考えるようになると、「本当に自分は看護師になりたいのか？」と考えることが多くなって…。そんなとき、大好きなラジオに関わる仕事ができなにかと思うようになったんです。

実はわたし、ラジオが友だちと言ってもいいほどのラジオオチ子。好きなアーティストの新曲が流れるつとときには、テープに録音しながら聴いてましたよ。あるとき、誕生日に家でひとり留守番をしていたことがあって、いつも聴いている番組にFAXを送ったんです。そして、「誕生日おめでとー！」ってDJさんに言ってもらえて、すごくうれしかった。ああ、自分もそんなふうになんか幸せにする仕事に就きたいと、そして、高校卒業してすぐに専門学校へ進学しました。

MAEDA AYANA

夢を実現するための日々

3月29日京都市生まれ、母親も京都の生粋な京女。高校卒業後、本格的に学ぶため専門学校のラジオ学科へ。ADバイトを経て養成所に入り、2008年4月にα-stationのDJとしてデビュー。寺社の庭めぐりが好きで、「京都・観光文化検定試験」3級合格に向けて目下勉強中。寺社の中でも、とくに庭園の苔に夢中。

学校では、DJとしての基礎やラジオ番組制作の基本を学びました。そのころから、いろんなバイトをしました。パン屋に居酒屋、雑貨屋、レストラン、おばんざいのお店…。どの仕事場でも「DJになりたい！」「ラジオの仕事がしたい！」と公言していたら、ある店の先輩スタッフさんからラジオ関係者の人を紹介してもらえたんです。その縁で、ラジオ局のADバイトを始めました。現場に身を置くと、益々「自分も絶対この場所で働きたい！」と強く思うようになりましたね。両親をはじめ、友人やバイト先で出会った人たちも、皆がわたしを応援してくれる環境だったのは、とても恵まれていたと思います。だからこそ、皆の期待にこたえるためにも簡単に諦められない、と28歳で先が見えなかったら深くやめる覚悟を持っていたので、一日でも早く夢を叶えたいと思っていました。

そして、晴れてDJデビュー

だから、4月からのレギュラーに決まったときは衝撃が大きすぎ、初日のオンエアまでは、なかなか実感が湧きませんでした。いまは深夜番組なので、リスナーとのコミュニケーションが取りにくいのが少し残念ですが、正しい日本語を使って、自分が思っていること、自分自身の素直な気持ちをちゃんと伝えられるようになるのが、当面の目標です。今後は、いろんなところへ出向いて行って情報を発信するリポーターとか、もっとリスナーと向き合えるツイッターの番組にも挑戦してみたいですね。基本的に自分の目で見たことしか信用しないタイプなので、もっともっといろいろなことに触れて、見聞きして、自信を持って言葉にできるものを掴んでいきたいです。



DJ's Favorite Item

2007年3月に一人旅で訪れた屋久島にどっぷりハマリ、「2009年7月の皆既日食を見るために、絶対また行きたい！」。そこで苔に魅了され、少なくとも月に2日は京都の寺めぐりを楽しむように。最近お気に入りの魚眼レンズのトイカメラは、「現像してみないと判らないドキドキ感がたまらない」



DELICIOUS DONUT

毎週月曜～金曜 26:00～28:00

DJ:前田彩名

いま、最も熱い視線が注がれているアーティストのいち早い新譜を中心にお届けする深夜の音楽番組。アルバム特集やライブ情報なども盛り込みながらの2時間、たっぷりとお楽しみください。